



海の恵みに感謝

学校長 中山 光恵

7月

先月のマリンフェスタに引き続き、今月も海に関連した活動について、お知らせします。

〈その1〉 穴子丼

6月28日(月)の給食の献立は、「穴子丼、呉汁、もやしときゅうりのごま醤油あえ、牛乳」でした。基準献立は「イワシのかば焼き」でしたが、金沢小独自献立として、この日は「穴子の天ぷら」に変更しました。今回は柴漁港(昨年度までは金沢漁港)で獲れた穴子に衣をつけ、給食室で揚げました。穴子のふっくらした身に、たれをかけて麦ごはんと一緒にいただくのは格別の味でした。金小名物として、子どもたちにも人気です。



穴子が給食に登場するようになったのは、金沢漁港の関係者だった保護者に、「せっかく海の近くにある学校なので、何か特色を生かした給食を出したい」と相談したところ、「学校のためならやりますよ」と快く引き受けてくださったのが始まりだと聞いています。もう10年以上続いている献立です。

給食には、地産地消を取り入れています。海に近い金沢小では、穴子の他に、近くで獲れた海苔やワカメを使うこともあります。先月は、学校前の藤森商店の海苔を使った「海苔の佃煮」も給食に出ました。

〈その2〉 稚魚放流

金沢漁港で、先週5年生が稚魚の放流に参加させていただきました。船を3艘出してくださり、子どもたちはバケツに入ったヒラメやメバルの稚魚を、八景島の沖に放しました。

〈その3〉 環境大臣賞受賞

昨年度、金沢小は、マリンフェスタ(海岸清掃)やアマモを育てる活動に長年取り組んでいるということで、横浜環境活動賞を受賞し、市長から表彰状をいただきました。

そして今年度は、金沢小の取組が地域環境保全に功績があったということで、環境大臣の環境保全功労者表彰を受賞しました。昨年度からのコロナ禍で思うような活動ができていなかったのですが、金沢小がずっと取り組んできた活動を認めていただいたことですので、たいへん喜ばしいことと思っています。(横浜市のHPで記者発表されました。横浜市トップページ→市の情報・計画→記者発表→6月22日「横浜市の3団体・1名の方が環境大臣賞を受賞!」)

これからも、地域の材を生かした活動をすることで、地域とつながり地域と共に歩む学校でありたいと思います。